








MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

Vol.15 2011.3

 あいさつ	1 ページ
 大学の動き	3 ～ 5 ページ
 学生生活	6 ページ
 学生支援事業	8 ～ 10 ページ
 行事予定	10 ページ
 お知らせ	11 ページ
 クラブ・サークル活動紹介	12 ～ 14 ページ

トピックス

感染管理認定看護師教育課程開設に向けて 2 ページ

シリーズ

「開学15周年に向けて」 3 ページ

「研究室訪問」 7 ページ



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

理事長〔学長〕 あいさつ

村本 淳子



「教育立国」と言われている我が国は現在少子化が進んでおりますが、高等教育への進学率は2008年には55%を超えております。そのような中で看護系大学は2010年4月には194校となり、すさまじい勢いで増え続けております。ここ数年、単科の看護系大学の多くが合併し総合大学となっていく中で、本学は平成9年の開学以来、一貫して質の高い看護実践家の育成をめざし看護の単科大学として教職員一丸となり努力してきました。

本学は平成21年4月に公立大学法人となり、大学経営に自由度を増すことにより、競争力、サービス力、即戦力、柔軟性をつけて、開学からの基本理念を再確認し、地域とともに在り、歩むという特徴をさらに明確に打ち出し前進しています。

今年度は法人化1年目の評価委員会による評価を初めて受けました。またそれと並行して大学基準協会による認証評価（平成15年に第1回を受けており、今回2回目の更新）も受け、この12月に無事「可」の評価結果を得ることができました。今後ますます単科大学としてのメリットを生かし、丁寧で質の高い教育、質の高い教育の保証とプロフェッショナル育成をめざし、名実ともに「三重県立看護大学」のブランドをますます高めていきたいと考えています。また地域貢献もこれまで以上に進め、地域の人々に愛される大学、地域になくてはならない大学としてその存在意義を明確にしていきたいと考えています。

卒業生の皆様方、後援会の皆様方、また地域の皆様方に支えていただきながらますます発展し続けていきます。これまで以上に応援のほど、よろしくお願いいたします。

後援会会長あいさつ

行元 強



本学は、教育の柱として「自主・自立の精神」と「看護する心」により、質の高い看護実践家の育成を目指されているとお伺いしております。

私事で恐縮ですが、3年生の娘は、9月末から実習に取り組んでおります。

毎晩遅くまで勉学に励む事は、厳しいと思いますが、そこでの経験は、大きく成長する為の「基礎」作りであり、将来に向けての自信と喜びに繋がるのではないのでしょうか。

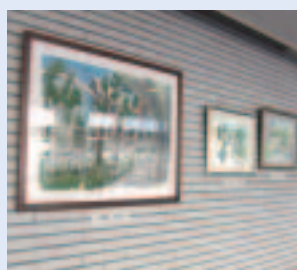
私達保護者は、ありのままに受け止め、支え、指導して下さる教職員のご苦勞に感謝したいと思います。

シンボルツリー みかんの木 その後

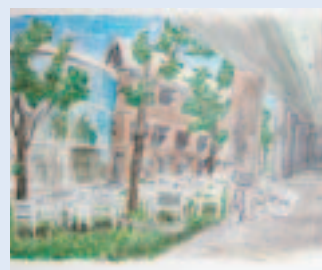
平成21年4月の法人化を記念して植樹をした「みかんの木(みえ紀南1号)」も2年目の実が熟しました。



「白雅会」作品展示



津市内で活動をされている「白雅会(はくがかい)」様より大学の風景などを描いた作品をお預かりし、展示をさせていただきました。



トピックス

感染管理認定看護師教育課程の開設準備中

平成22年10月に、日本看護協会より認定看護師教育機関と認定していただき、三重県初の「感染管理認定看護師教育課程」開設のために、現在着々と準備を進めているところです。感染管理のスキルを極めたい方、感染管理の面白さに目覚めた方、感染管理を愛してやまない方を、研修生として受け入れていきたいと思っています。研修生の募集から開講期間は以下のように予定しています。詳しくは当大学HP「認定看護師教育課程」を参照してください。

研修生募集要項の配布：平成23年3月～

出願期間：平成23年4月4日（月）～4月25日（月）

入学試験日：平成23年5月22日（日）

選抜方法：筆記試験（感染予防・管理領域における専門基礎知識、小論文）、面接試験

定員：30名

入学式：平成23年7月1日（金）

開講期間：平成23年7月～平成24年2月（8月間）

専任教員：脇坂浩、小林百合

*スケジュールは若干の変更を伴う場合があります。

《受験勉強のポイント！》

入試では、看護師国家試験で求められている「感染症対策に関する基礎的な知識」のレベルで出題されるので、ほんの数年前？の看護学生に戻ったつもりで受験勉強してください。また、面接試験、小論文も対応マニュアルなどを参考に準備してください。



感染管理看護研究会の発足「これからはじめよう感染管理の看護研究」



感染管理における看護研究は、これまで偉大なる先輩方が開拓してきたものでは？しかし、先行研究の傾向を考えると、看護者が筆頭なのに感染制御のみの色が強い研究報告が多く、感染者や易感染患者のニーズに関連した研究報告は少ないといえます。今、感染管理の看護研究に、マネジメントの特色や、組織的な視野から個人をみる視野まで持った研究が、求められているのではないかと感じています。しかし、本研究会で考える「感染管理の実践に即した看護研究のアルゴリズム」は、まだ完成していません。これから、感染管理を愛してやまない会員とともに、このアルゴリズムを作り上げていきたいと思っています。

会長：脇坂浩（三重県立看護大学）

感染管理看護研究会 会員募集のお知らせ

平成22年11月13日（土）に本学で第1回感染管理看護研究会が開催されました。当日は、学内外から84名の参加者があり、「三重県でこのような研究会が発足することがうれしい」、「学びの場として度々参加させてもらえるとありがたい」等のご感想が寄せられました。

第2回研究会の開催は、平成23年9月頃を予定しています。会員に職歴、研究業績は問いません。感染管理に関する看護研究に少しでも興味がある方は、ぜひご参加ください。特に、当大学の在学生、卒業生の参加をお待ちしています。

《問合せ・申込み》

感染管理看護研究会事務局

〒514-0116 三重県津市夢が丘1-1-1 公立大学法人三重県立看護大学地域交流センター

e-mail:kansen@mcn.ac.jp



大学の動き

三重県立看護大学開学15周年記念事業

『三重の看護史』編纂・発行＋ミニ看護博物館開設プロジェクト

平成24年5月に開学15周年を迎える本学では、記念事業の一環として「三重の看護史」編纂・発行とミニ看護博物館開設に向けた準備を、平成22年4月から他の事業に先行して始めました。



「三重の看護史」の編纂・発行に向けては、(社)三重県看護協会編纂の「三重県看護史」が出版された昭和62年前後から現在に至るまでの医療・看護をめぐる県内の動きを中心に、本学独自の視点で検証する作業を進めています。また、ミニ看護博物館開設の準備では、大学からの呼びかけに対して県内各地域の多くの皆様から、各種免許状、産婆道具一式などの資料をご提供いただいています。



このプロジェクトは、医療・看護に携わってこられた多くの先輩方の足跡を保存するとともに、これから看護職者を目指す若い人たちに伝えていくものであり、県立看護大学に課せられた使命の一つとも言えます。限られた時間の中で本プロジェクトを進めております。情報や資料の提供をはじめとして、多くの皆様のご協力が不可欠です。是非、大学として本プロジェクトを盛り上げていくとともに、医療・看護に携わってこられた諸先輩方にとどまらず、県民の皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。



平成22年度卒業研究発表会が開催されました。



を受けながら、発表や論議が展開されました。大学4年間の学びの素晴らしい成果が感じられました。

1月6日(木)に平成22年度卒業研究発表会が開催されました。大講義室で村本学長のお言葉をいただいた後、4会場に分かれて1年間取り組んだ研究について発表し合いました。どの会場も秀作揃いで、来年度履修する3年生の熱い眼差し





三重県内病院等看護管理者の方々と懇談会

本学では、看護・介護の第一線で御活躍されております看護管理者の方々をお招きして、本学の看護教育等の取り組みの説明をさせていただき、年1回意見交換を行っております。

本年度は9月28日に県内37施設の管理者の方々にご参加いただき開催しました。当日は、学長が「新人看護師の特徴とその



教育」と題した講演を行いました。その後、平成23年度に開設予定の感染管理認定看護師教育課程の説明や看護研究等の説明などを行いました。参加者の皆様からは様々な御意見をいただき、本学の取り組みを顧みる有意義な懇談会となりました。



本学のFD活動



FD (Faculty development) は、大学が教育や研究の能力を高めるための組織的な取り組みで、最近では実施が義務づけられています。本学では、「学生による授業評価」で学生のみなさんから、「教員相互の授業点検評価」で同僚から点検や評価を受けて、教員それぞれが授業改善に役立てます。後者は他大学にはあまりない先進的取り組みです。また、外部講師を招く「FD講演会」を年1回開くとともに、「研究教育コロキウム」を毎月実施し、教員や大学院生の間で教育や研究に関する発表や意見交換を行っています。さらには、臨地実習の現場に立つ先生方で集う「みかんミーティング（助教助手のためのスキルアップ研修会）」を年4回開くなど、本学では、現在相互研鑽型FD活動を主軸として教育・研究能力の向上を図っています。

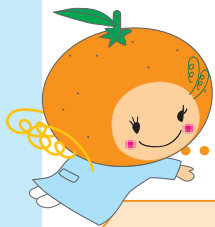
平成22年度修士論文発表会が開催されました。



三重県立看護大学大学院看護学研究科の平成22年度修士論文発表会が、1月19日に開催されました。6論文について発表・審査が行われました。いずれも看護実践に示唆を与える内容であり今後の修了生の

実践・教育・研究における活躍が期待されます。





大学の動き

オープンキャンパス



7月31日に開催されましたオープンキャンパスは、猛暑にもかかわらず、610名（県内高校464名、その他146名）の方々がご参加くださり大盛況でした。過去最大数の参加者に、オリエンテーションは急遽2室（講堂・大講義室）準備することになりました。ご参加いただきました方々には、在学生50名の応援を得て、大学紹介、

入試説明、公開授業、進学説明、体験ブースなど、一連のプログラムを効率よく消化していただきました。また、この時の学生の対応が、参加者の好感を得て高い評価をいただきました。



教育懇談会

昨年に引き続き2回目の教育懇談会を、9月21日に開催しました。参加人数は60組で、ご両親などお二人でご参加いただいた方が多く、子供の学生生活に対する高い関心度が伺われました。アンケート結果からは、懇談会内容に満足したので今後の継続参加を希望される

方や、直接教員から成績や就職面のこと、子どもの状況などを聞くことができ、安心したなどの声が多く聞かれました。今年は会場を大学に移して、骨密度計・体脂肪計の設置やストレスチェックなどを実施することで、懇談までの待ち時間解消に努めました。これは大盛況で、終始賑わっていました。



ランキング

「専門分野を深く学べる イメージがある大学」

東海エリア 第11位

東海エリア女子 第9位

出典：リクルートカレッジマネジメント 164
「進学ブランド力調査2010」

「大学の地域貢献度ランキング」

総合ランキング（全国） 第16位
（公立） 第7位

大学設置形態別ランキング
（看護・福祉系）
第1位

出典：日経グローカル No.160 2010.11.15

地域別ランキング（東海） 第1位

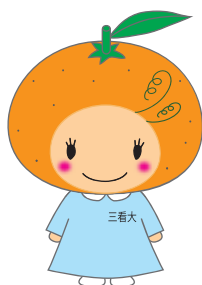
出典：日経グローカル No.161 2010.12.6

国際看護実習 II @UCLA



平成22年度国際看護実習Ⅱは8月7日から16日まで、3、4年生6名と担当教員1名が参加し、アメリカ合衆国カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）とその関連施設において行われました。UCLAでの実習は初めてのことでしたが、講義や見学を通して、UCLAで行われている最先端の医療や看護の一端に触れることができました。また、UCLAの学部生の授業では、学生のプレゼンテーションの素晴らしさに

感動したり、ランチタイムに学部生と交流し、同年代の学生の成熟ぶりに驚いたりしました。UCLAの広大な緑あふれるキャンパスは私たちの心を癒してくれる素晴らしい環境でした。今年度は国際看護実習Ⅰ（タイ）が3月に行われる予定です。アメリカとはまた違った学びをたくさん得られることと期待しています。



学生一言インタビュー

今回のテーマ
「お気に入りの場所」



1年 坂本真理奈



1年 山本奨太



2年 五十嵐彩夏



2年 稲田有紀



3年 熊澤梓



3年 大久保晴奈



4年 松枝大和



4年 竹内友理

● ● ● 「未来ある子どもたちのために」 ● ● ●



小児看護学 講師
前田 貴彦

小児急性期病棟看護師、三重大学医学部看護学科小児看護学助手、再度小児急性期病棟看護師を経て現職。（三重県立看護大学大学院看護学専攻科 修士課程修了）

入院中の子どものお母さんから「男性の看護師さんって本当にいるんですね。はじめて見た。」と言われて早10数年。多分、私は三重県で小児看護を実践した第一号の男性看護師だと思います（今は多くの後輩が活躍しています）。私は、日々病と闘い頑張っている子どもやその家族が少しでもよりよい入院生活が送れるように一緒に頑張りたいとの思いから、小児看護を実践してきました。そして、実際の臨床の場での貴重な経験から「未来ある子どもたちの看護にすぐ活用できる研究をすること！」をモットーに現在、小児看護での男性看護師の必要性や思春期の子どもに関する研究、病気をもつ子どものきょうだい支援、小児救急医療に関することを主なテーマとし研究を行っています。同時に、未来の看護を担ってくれる学生に小児看護の楽しさ、すばらしさを語る日々を過ごしています。

私はこれからも小児看護の世界に身をおき、小児看護を愛する多くの仲間達とともに「自分が子どもたちのためにできることは何か」を考え続けていきます。

● 「在宅看護から学んだことがライフワークに」 ●

本学の看護学での私の担当科目は、在宅看護学に関する科目です。在宅看護とは、文字通り、在宅で療養生活をする方々の看護です。私は、看護師として臨床経験の後に訪問看護師としての経験をしてきました。訪問看護を受ける方の多くは、24時間の人工呼吸器装着（気管切開）や、酸素吸入、経管栄養や中心静脈の持続点滴を受けている重度の方がたです。医療機器を装着しながらの毎日に少しでも喜びや生きる希望を持っていただけるように、桜の時期には花見、秋にはバス旅行などでひとときの時間を過ごすこともありました。「病気になったら在宅で」と考えている人が増えていますが、在宅生活は介護上の面や精神面では大変なことがたくさんあります。長期になればそれはもっと著明になり、たくさんのケースを経験して学ばせて頂いたことが現在の研究テーマにも繋がっています。最新の研究テーマは、医療過疎地域での在宅療養者や家族、介護者を中心とした調査です。三重県南部には医療過疎と呼ばれる地域があります。その地域で安心と安全を維持しながら生活する方法を地域住民の皆さんや医療専門職と共に考えています。

そして少しでも早く、研究成果が医療過疎地域の皆さんに地域貢献できるよう日々努力しています。



地域在宅看護学 助教
日比野 直子

愛知県内病院、訪問看護ステーションの訪問看護師として臨床経験、藤田保健衛生大学助手を経て、現職。（愛知県立看護大学 大学院看護学研究科地域看護学専攻 修士課程修了、看護学修士）

文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に選定 －休退学・早期離職防止のキャリア形成モデル－

文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に本学の取り組み事業が平成22年9月に選定されました。文部科学省の本事業は、各大学・短期大学における、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取組を国として支援するものです。この事業に全国の短期大学を含めた大学から441件の申請があり、そのうち180件が選定されています。公立大学では31件の申請のうち、23件が選定されており、本学もその中に含まれます。

看護系大学に入学する学生は、将来に就く職業として、看護師、保健師、助産師への志を抱いていると思われます。しかし、自分の意思ではなく親や高校の教諭の薦めによって入学してくる学生も少なからず存在し、入学後に看護師などの看護専門職に就くことに迷う学生もいます。また、看護師は就職後の早期離職者が多い職業でもあり、離職者の防止は多くの医療機関での課題です。そのため、本学は「休退学・早期離職防止のキャリア形成モデル」という名称で本事業に取り組むこととしました。

「休退学・早期離職防止のキャリア形成モデル」では、看護系大学に進学する意思のある県内高校生を対象とした「看護職キャリアデザイン入門」と、本学に入学した学生を対象とした「看護職キャリアデザイン」の2つの事業を5カ年計画で展開します。この2つの事業により、看護系大学である本学学生が将来就くこととなる保健師・助産師・看護師の看護系専門職業人としてのアイデンティティを早期に醸成することを目的としています。看護系大学の学生のキャリア形成や医療機関での看護師の早期離職については、全国の看護系大学の課題であり、本学の事業は、全国の看護系大学に向けての先進的モデル事業として期待されるものです。

ところが、平成22年11月18日に実施された事業仕分けにおいて、文部科学省の「大学改革推進事業等補助金（GP；Good Practice事業）」が廃止との判断がされ、「大学生の就業力育成支援事業」も対象事業に含まれました。このGP事業の廃止に対しては本学も所属する公立大学協会から廃止の再考を国会議員に提出しています。本学も、地域の課題解決に真剣に取り組んでいる公立大学にとって大きな痛手となることから、村本学長等が地元選出の国会議員8人の事務所等に出向き、同じく事業仕分け結果の再考を働きかけました。これらのこともあって、平成22年度と23年度については申請予算が交付されることとなりました。

本学としては、今後の予算措置がされない場合でも、「休退学・早期離職防止のキャリア形成モデル」事業は重要と位置づけていますので、前向きに取り組むことを考えています。



学生支援事業

国家試験は通過点

看護師国家試験の合格率は、ここ5年間90%前後（全国）で推移しています。その中で本学は、看護師・保健師・助産師ともに合格率100%が目標です。対策の柱は3つです。1つは専門分野の教員による補講です。重要性の高い内容を重点的に、9月に実施しました。2つ目は模擬試験です。両課程とも年間3回の模試を実施しました。単位時間内に、与えられた問いに対して適切な解答を選択する練習です。3つ目は特別講義です。専門講師による国家試験対策講義です。これらの対策は、基礎知識を確実に身に付けるための反復習得が狙いです。その対策に加えてもっとも重要なのは、学生自身の努力です。「国家試験は通過点」です。その先の大きな目的を目指して、大いなる努力を期待しています。

2010年 第99回看護師国家試験 合格者数

国公立大学 第8位
(厚生労働省資料より)

保健室でのこの1年

昨年度は新型インフルエンザ対策に振り回され、今年度も不安な日々を送っていましたが、今のところ数名の発症のみで大きな流行がなく、過ぎている状況にホッとしています。当大学は“看護大学”であり、全員が将来医療に携わることになります。学生には、常に感染予防を意識して行動できるようになってほしいと思い、年度始めや長期休み明けなど、定期的に掲示やメールを配信し、意識付けができるよう働きかけました。主な出入り口には手指消毒薬を設置し続け、多くの人に活用されています。

また、昨年度同様に、保健室が誰にでも安心できるひとつの居場所となれるよう環境づくりをしています。一人暮らしの学生にとっては、おうちの人に相談するように気軽にやって来れるようで、昨年度に比べ来訪者数は100名ほど増加しています。内容は様々ですが、小さなきっかけから学内の現状がみえてきたり、今の学生の動向を知ることできます。

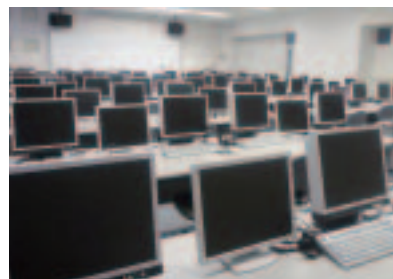
普段は目立たない場所ですが、学内の皆さまの健康のために、少しずつ活動を続けていけたらと思っています。



新情報ネットワークシステムについて

情報センター

平成22年9月、本学の情報ネットワークシステムを全面入れ替えいたしました。本学の情報ネットワークシステムは、平成9年の開学時に初代のシステムが構築され、今回が4代目になります。情報ネットワークシステムは、学内サーバー7台、教職員用端末130台、学生用端末112台を導入し、教育研究部門および事務部門への円滑な処理を可能としています。今回の大きな変更点は、従来のLL教室を第二情報処理教室として改装し、教室内の端末を112台に増強させたことです。近年の語学教育は、パソコンを用いたシステムが主流であることや、情報処理教室が講義で使用されている時間帯は他の学生が利用できないなどの不便な点がありました。新システムに移行し、さまざまな問題点を解決するとともに、快適なネットワーク環境で教育研究が行われています。



地域交流センター 卒業生支援事業『夢が丘ハートネットワーク』

本事業は、本学の卒業生が看護職としてイキイキと活躍できるよう支援する事業です。

今年度、本学で開催された「夢緑祭」では、同窓会主催のコーナーを設け、本学学生と同窓会との交流を支援しました。また卒業生を対象とした「よろず相談」を第

2・4水曜日のPM1:30～3:30の時間に開設しています。卒業生が気

楽に電話、メール、来学して、仕事や家庭での悩みや困りごとの相談に応じています。平成22年11月13日（土）、第3回「ミニ同窓会；卒業生あつまれ！」を本学学生ホールで行いました。大学の卒業生・短大の卒業生がそれぞれの近況を報告しあい、交流を深めました。次回は、平成23年3月5日（土）済生会松阪総合病院において「タッピング・タッチ」の講習会も同時に行う予定です。



行事予定

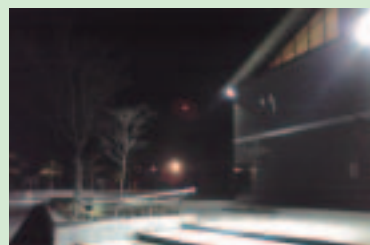
平成23年度前期行事予定

4月	1日	地域交流センター出前授業、公開講座講師派遣申し込み受付開始
	5日	入学式
	7日	前期授業開始
	23日	「Let's go to 三看大！」（小・中学生向けの学内ツアー等）
5月	8日	開学記念日
	22日	認定看護師教育課程「感染管理」入学試験 夢緑祭
6月	2日	「おいでよ キッズサロンへ」（全8回 毎週木曜日） フレンテまつり参加 ようこそ先輩・就職説明会
	1日	認定看護師教育課程「感染管理」開講
	23日	看護フェスタ参加
7月	27日	前期授業終了
	29日	「みえアカデミックセミナー2011」公開セミナー（三重県生涯学習センター主催）
	30日	オープンキャンパス ゆびた祭り
	11・12日	「看護職キャリアデザイン入門 ステップ2」（ステップ1は、4月～6月） 夏季休業
9月	3日	H24年大学院入学試験
	8日	H24年大学院入学試験合格発表 教育懇談会

（2月22日現在の予定ですので、詳しくは大学HPでお確かめください）

施設整備を進めています

- ・平成23年1月より学内中庭及び駐車場に屋外灯を取り付けました。「夜間に足元が暗く怖い」という学生の声に応え、学内での安全対策の一貫として実施しました。
- ・就業力育成支援事業の実施に伴い、講義室の改修を行いました。演習用の移動可能な机・椅子等を設置し、100名の学生のグループワークと、グループ間での意見交換ができるようになりました。



屋外灯の様子



10

MCN REPORT

お知らせ

「Campus CUBE」放送中

レディオキューブFM三重78.9MHz
毎週金曜日20:30~20:55



◀9/17 林先生
ゲスト出演



1/21 村本学長▶
ゲスト出演

9月17日、薬理学の林辰弥先生がゲスト出演しました。本学学生との軽快な掛け合いでトークが進む中、最後は「みんなで看護師になろう!」「おーっ!」でしめてくれました。

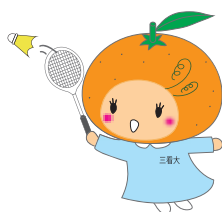
1月21日には村本淳子学長が出演。終始なごやかな雰囲気、MCの高橋和代さんから「大きな家族(三看大)のBig Mother(村本学長)」と命名されたほどでした。

「ラッキィ」「つま」の愛称で親しまれた4年生の池田幹人くん、辻巻謙太くんがキャンキューからも卒業します。1年間ありがとうございました。

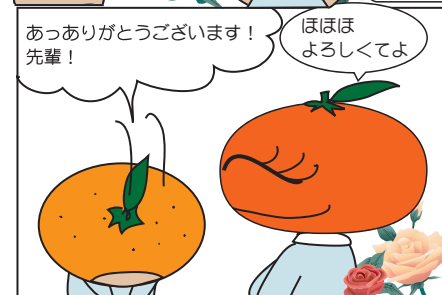
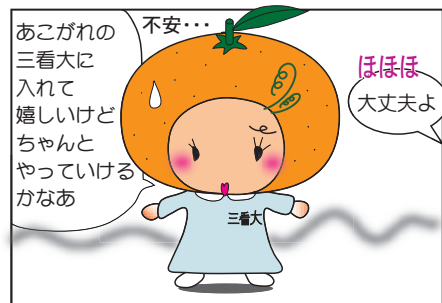


「三看大健康バドミントン教室」 を開催しました。

平成22年10月12日から12月21日までの毎週火曜日、10回にわたり「三看大健康バドミントン教室」を開催しました。今年度は、津市にお住まいの22名の男女(30~70歳)の皆さんにご参加いただきました。教室は、10時から2時間行い、ストレッチなどの準備運動の後、バドミントンのテクニックを学びながらゲームを楽しみました。みなさんとても熱く、輝くような笑顔でシャトルを追いかけておられました。また、「運動処方演習」を履修している本学2年生が、初日と最終日に、体脂肪率、骨密度や体力を測定するとともに、技術練習のアシスタントになったり、一緒にゲームをしたりと活躍しました。学生のみなさんにとっても、今回の教室は、地域の方々の健康づくりやスポーツ活動、それに取り組む熱意などに触れることができるとても良い機会となりました。



みかんちゃん



クラブ・サークル活動紹介

ひだまり

- ① **活動日**：毎週木曜日
- ② **活動場所**：学生ホール
- ③ **メンバー数**：50人
- ④ **代表**：五十嵐 彩夏 **顧問**：竹本 三重子
- ⑤ 私たち「ひだまり」は、活気があり楽しく充実した大学生活を送れるように、様々なイベントを企画しています。サークル内だけのイベントだけではなく、大学全体、大学周辺の住民の方々や公衆衛生学院の方々を対象としたイベントも企画しています。
4月には新1年生を対象にしたプレ歓迎会を開催し、新入生の不安の解消のみならず新入生同士の交流の場として活用されました。
7月には「ゆびた祭り」を開催し、近隣住民の方々にも参加していただき「大学を知ってもらう場、交流の場」としてよい機会となりました。
また年に4回機関誌も発行しております。



国際交流サークル

- ① **活動日**：主に、タイの留学生の来訪時や、各地で開催される交流活動へ参加しています。
- ② **活動場所**：学生ホールや、各自自宅など、英語でコミュニケーションを図れる場所なら、どこでも活動場所です。
- ③ **メンバー数**：26人
- ④ **代表**：田辺 英俊 **顧問**：山口 和世
- ⑤ 日々の何気ない生活の中で、英語を使ったコミュニケーションを積極的に図りながら、各自の英語コミュニケーション能力の向上を図っています。タイの留学生来訪時には、その能力を使って、学校案内や京都の歴史についての案内をしています。



バレー部

- ① **活動日**：火曜18:00~20:00
- ① **活動日**：木曜18:00~20:00
- ① **活動日**：土曜 9:00~12:00
- ② **活動場所**：看護大学体育館
- ③ **メンバー数**：7人
- ④ **代表**：奥瀬 美由 **顧問**：草川 好子
- ⑤ 私たちバレー部は週3回、7人で活動しています。毎回楽しくゲームをしたりしています。楽しみながらもしっかり練習し、県の大会にも出場しています。みんなとても仲良く和気藹々としていますが人数が少ないので、一緒にバレーしたいと思っている人を募集しています。初心者からでも楽しめると思うので、ぜひ一度遊びに来てください。



クラブ・サークル活動紹介

- ① 活動日
- ② 活動場所
- ③ メンバー数
- ④ 代表者、顧問の氏名
- ⑤ 紹介



ゆめたまご

- ① 金曜日の昼休み(連絡のある日のみ)
- ② 講義室3
- ③ 16人
- ④ 代表：山中 由梨 顧問：奥山 みき子
- ⑤ ボランティアサークルゆめたまごは地域の様々なボランティアに参加しています。主に病棟でのレクリエーション(手の動きを加えた歌やペットボトルを用いたボーリングなど)を企画し患者さんのよりよい入院生活を目指し活動しています。また子供達に勉強を教えたり、一緒に遊ぶ活動も行っています。これらの活動を通して私たちも看護の視点で大変勉強になったり、コミュニケーション能力の向上にも繋がっています。ぜひ私達と一緒に人に喜ばれる活動をしてみませんか？

テニスサークル

- ① 水曜の講義終了後、土曜の午後
- ② テニスコート
- ③ 約30人
- ④ 代表：森本 将吾 顧問：大西 範和
- ⑤ こんにちは！テニスサークルです！私たちテニスサークルは、水曜の講義終了後や土曜の午後に県内のテニスコートにて活動しています。他の活動としては、春・秋に遠足。夏に合宿、冬には鍋パをしたりスキー旅行に行ったりしています。またサークルが終わった後に食事へ行ったり、雨が降った時にボーリング等で遊ぶなどなど・・・楽しいサークルです！試合にも出ていますので、また興味があったらのぞいてみてくださいね！

Green Tea Club

- ① 毎週月曜日・木曜日
- ② 実習室1 (レクチャールーム)
- ③ 3年生5人、2年生9人、1年生5人 計19人
- ④ 代表：鈴木 詩織 顧問：二村 良子
- ⑤ 週に1回茶道の先生の下活動し、先生が来られない日には自主的に茶道を練習しています。また、学際でお茶会を開いたり、夏休みを使ってお茶わんを作ったり、楽しいイベントがもりだくさんあります。茶道というと堅苦しいイメージがありますが、抹茶と一緒に食べるお菓子が大好きな部員ばかりで、余ったお菓子の争奪戦を繰り広げることもしばしばあります。そんな食いしん坊なメンバーで楽しくサークル活動をしています。

つぶつぶ

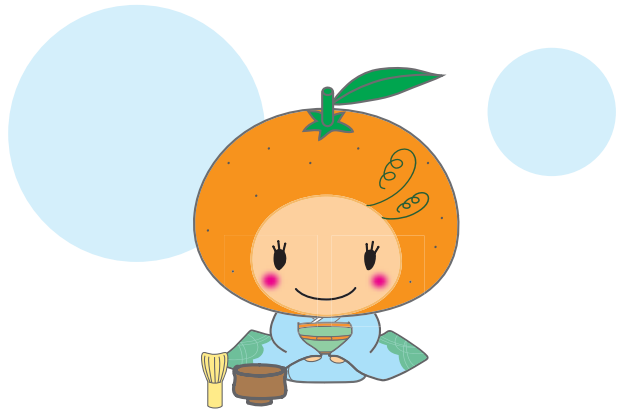
- ① 不定期
- ② 三重県立看護大学・三重大学
- ③ 5人
- ④ 代表：西村 佳穂 顧問：臼井 徳子
- ⑤ つぶつぶは、医療や社会について話し合い学ぶサークルです。話題は何気ない会話の中では話題になりにくい医療問題や医療の現状、自分が気になることなど何でも自由に話しています。また、全国の同じような活動をしているサークルの講演会、全国医学ゼミナールに参加するなど、交流を広げています。同じ医療の仕事を志す仲間との交流は、自分の考えを表現したり、将来についての思いや悩みを話し合うよい機会になっています。

m.c.n小児糖尿病研究会

- ① 月1回、東海地区小児糖尿病サマーキャンプ
- ② 演習室、東海地区小児糖尿病サマーキャンプ
- ③ 5人
- ④ 代表：大山 奈央 顧問：杉野 健士郎
- ⑤ 東海地区小児糖尿病サマーキャンプは毎年8月に4泊5日で行われ、キャンプの一部企画の運営を私達学生部会が行っています。部会は月1回、子どもたちがキャンプを楽しめるような企画を考えたり、糖尿病の勉強会をしたりしています。キャンプでは楽しく遊びながらも、子ども自身が病気と向き合えるよう関わっていきます。また、医師や看護師、薬剤師など、医療従事者も多数参加するため、キャンプを楽しみながら医療に対する学びも深めることが出来ます。

献血推進サークル「さくらんぼ」

- ① 月に1度程度
- ② 鈴鹿のベルシティや松阪のマームなど
- ③ 1,2年で8人
- ④ 代表：柴山 佑香 顧問：林 辰弥
- ⑤ 私たちは月に1度月例献血というものを行っています。血液が不足していることを伝え、献血をしてもらえるように呼び込みや広報をします。また、勉強会を開き、献血について学んでいます。週に1度お昼を一緒に食べながら楽しく過ごしています。



バドミントンサークル・ミントん

- ① 毎週火曜日5コマ後
- ② 体育館
- ③ 52人
- ④ 代表：奥田 三宝 顧問：オブライエン・マイルズ
- ⑤ こんにちは。バドミントンサークルのミントんです！ミントんはもともとの人数も多くないので先輩・後輩がとても仲がいいです。そして、皆バドミントンが好きで、初心者・経験者問わず週1回楽しく活動しています。自分の好きなペースで運動できます。
今年はクリスマスに、試合をした後みんなケーキを囲んで楽しく談話をしました。



200up

- ① 1ヶ月に1回
- ② ボーリング場
- ③ 38人
- ④ 代表：山中 裕樹
顧問：河合 富美子
- ⑤ 月に一回サークルメンバーと教員でボーリングをしています。目的は、ボーリングを通してサークル内での交流を深めること、学生と教員との交流を深めることです。
また、スコア200超えを目標として行っています。
お互いが刺激し合ってか自己最高スコアが出てしまうこともあり、男女関係なく真剣に競っています。教員とも仲良くなれます。



水泳部

- ① 火曜日・金曜日
- ② 三重大大学のプールで合同練習
- ③ 5人
- ④ 代表：榊原 大介 顧問：小池 敦
- ⑤ 三重県立看護大学水泳部は、今年で創部4年目を迎えました。今年も全国国公立大学の全国大会の標準記録を突破するなどの実績を収めることができました。また、他大学との交流戦、小学校での水泳指導教室に参加するなど幅広く活動しています。今年も水泳部一同、部活を通してより充実した学生生活を送ることができました。
来年度も公式試合で実績を残すこと・地域貢献に務めることなど、更なる飛躍を目指し、精一杯頑張っていきます。



niconico Communication

- ① 不定期に活動しています。
- ② 学生ホールや、各自の自宅で行っています
- ③ 25人
- ④ 代表：田辺 英俊 顧問：竹山 育恵
- ⑤ 日々発表される映画やネット上の動画を観賞することや、個人やサークルで撮影した映像を観賞することを通じて、サークルメンバー同士のコミュニケーションを図ったり、映像についての意見を交わしたりしています。



Nステ

- ① 毎月一回
- ② クラブ室B
- ③ 36人
- ④ 代表：山中 裕樹 顧問：前田 貴彦
- ⑤ 月に一回サークルメンバーと音楽活動をしています。目的は、音楽を通してサークル内での交流を深めることです。また、学園祭に出ることを目標に頑張っています。他にはみんなで音楽について話したりしてサークル内で交流を深めています。

ハピースポーツサークル

- ① 毎週金曜日
- ② 体育館
- ③ 1年生～3年生までいて主に1年生と2年生を中心に活動、たまに卒業生も顔を出してくれています。
- ④ 代表：福田 知之・顧問：脇坂 浩
- ⑤ ハピスポは何をするかは毎回決めておらず、その日に来た人でやりたいスポーツ(バレー、バドミントン、バスケット、卓球など)を自由にしていく感じのサークルです。みんなが仲良く楽しんでスポーツをしています。夏休みにはバーベキューをしたり、冬休み前にはボーリングにいったりもしました。
とにかくサークルのみんなが楽しめることを一番の目的としたサークルです。

ソフトテニスサークル

- ① 毎週月曜日(16時～20時)
- ② 三重県立看護大学 テニスコート
- ③ 20人ほど
- ④ 代表：早川 翔 副代表：朴木 千草
顧問：浦野 茂
- ⑤ 今年から作ったサークルです。元々、硬式テニスしかなく、ソフトテニスをしたいという人が多かったため、つくりました。経験者から初心者まで楽しくおこなってもいますし、たまには真剣にもおこなっています。もちろん、初心者の方に教えますが、基本は試合をして楽しみます。今年から作ったので、まだまだ活動が難しかったりしますが、合宿・新歓もおこないたいと思っています。誰でも歓迎なので、ぜひ来てください。



ア ク セ ス マ ッ プ



交通のごあんない

公共交通機関で

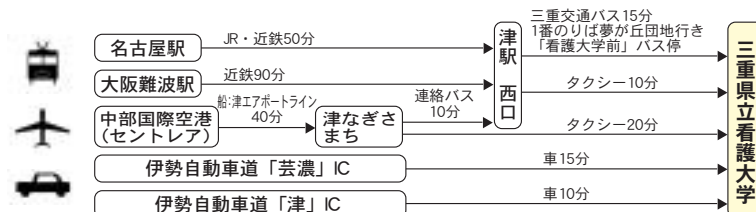
- 名古屋方面より：「名古屋駅」から「津駅」まで
JR快速みえ・近鉄特急で50分
- 大阪方面より：「大阪難波駅」から「津駅」まで
近鉄特急で90分
- ・「津駅」西口バスのりば「1番」から三重交通バスで「夢が丘団地」行き「看護大学前」バス停下車 徒歩1分
- ・「津駅」西口よりタクシーで10分

飛行機 船で

- 「中部国際空港（セントレア）」から
津エアポートラインで「津なぎさまち」へ40分
「津なぎさまち」からタクシーで「三重県立看護大学」まで20分

車で

- 伊勢自動車道「津」ICより10分
- 伊勢自動車道「芸濃」ICより15分



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されました。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



三重県立看護大学は環境配慮の国際規格を認証取得しました。

看護系大学で初めてISO14001を認証取得。

地球環境と共生し調和するエコキャンパスをつくるため、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、地球環境にやさしいキャンパスづくりを積極的に推進しています。

ISO14001とは…ISO（国際標準化機構）環境保全のための国際規格ISO14000シリーズのうち、ISO14001は企業や団体が事業活動を行う際に、環境に対する負荷を軽減する事業活動の一部として組み込み、継続的改善を行うための環境マネジメントシステムについて定めています。

編集後記

独立行政法人化2年目をむかえ、大学内外での活発な活動を紹介することができました。編集に関係いただきました皆様に感謝いたします。

MCN REPORT WG



公立大学法人
三重県立看護大学

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1
TEL 059-233-5600 (代)
FAX 059-233-5666
<http://www.mcn.ac.jp>

